



平成27年度

まちの予算と仕事

住みたくなるまち日本一へ

平成27年度に行う主要事業と予算の概要、町の財政状況についてお知らせします。

皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿って主な町の仕事をお知らせします。

問財政課 財務担当（☎358-0619）

目次 contents

- 2……一般会計予算の中身を見てみよう！
- 3……普段の生活に見立てるとこんな感じです
- 4……お金の使いみち
- 5……特別会計と水道事業会計の予算
- 6……まちの主な仕事
- 12……町の財政状況について

町の財政状況について

平成11年度にピーク（約83億4,000万円）に達した町債残高は、その後減少に転じていましたが、平成23年度より再び増加し、平成27年度末でも増加となる見込みです。

基金は、平成26年度に明石台小学校建設事業や町道高屋敷線道路改良事業が執行されたことに伴い、前年度に比べて減少しています。財政調整基金の取り崩しはあるものの、健全な財政運営を維持していくため、引き続き適切な基金運用に努めてまいります。

平成27年度借金（新規借入）見込額の状況

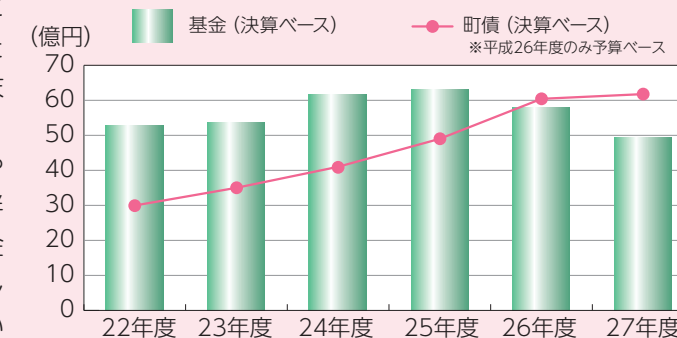
臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借入を予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

平成27年度貯金（基金）取崩しの状況

基金名	取崩額、充当額	充当事業
財政調整基金	8億5,506万円	歳入歳出の過不足を調整
庁舎整備基金	880万円	公有財産維持管理事業
長寿社会福祉基金	594万円	社会福祉協議会補助事業等

町の基金（貯金）と町債（借金）

基金と町債残高の推移



予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は町長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。町が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て予算案を策定します。

平成26年

オータムレビュー（主要課題調整会議）
決算議会をふまえ、各部各課の重点施策を町長が直接ヒアリング。

10月中旬 予算編成方針調整期間
国政動向、経済情勢、町政課題を把握し、歳入（収入）額を見込み、必要な情報を収集。新年度予算の方向性を部長会議で協議。

10月下旬 平成27年度予算編成方針決定・発表
庁議開催（参集範囲：部長、課長）

11月上旬 予算見積書作成
各部各課において見積書を作成
部課長に提出
※町政懇談会（11月～1月、富谷北部、東向陽台・明石台、成田、富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木）の開催

11月下旬 予算見積書財政課提出締切

12月中旬 第一次査定（財政課査定）

12月下旬 第二次査定（企画部長査定）
財政課長から企画部長に第一次査定結果の提示

平成27年

1月中旬 第二次査定内定
国の平成26年度補正予算および平成27年度予算案により、町の予算に反映する内容の最終判断。

1月下旬 第三次査定（町長査定）3回実施
・町長判断を要する事業や政策的事業について、各部長等からヒアリング内容の説明。基金の運用や町債残高等の総合的検討。
・平成27年度当初予算案確定（予算書印刷）
・各部長等へ最終査定結果を当初予算案として通知

2月下旬 議案審議
予算書配布。予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置。

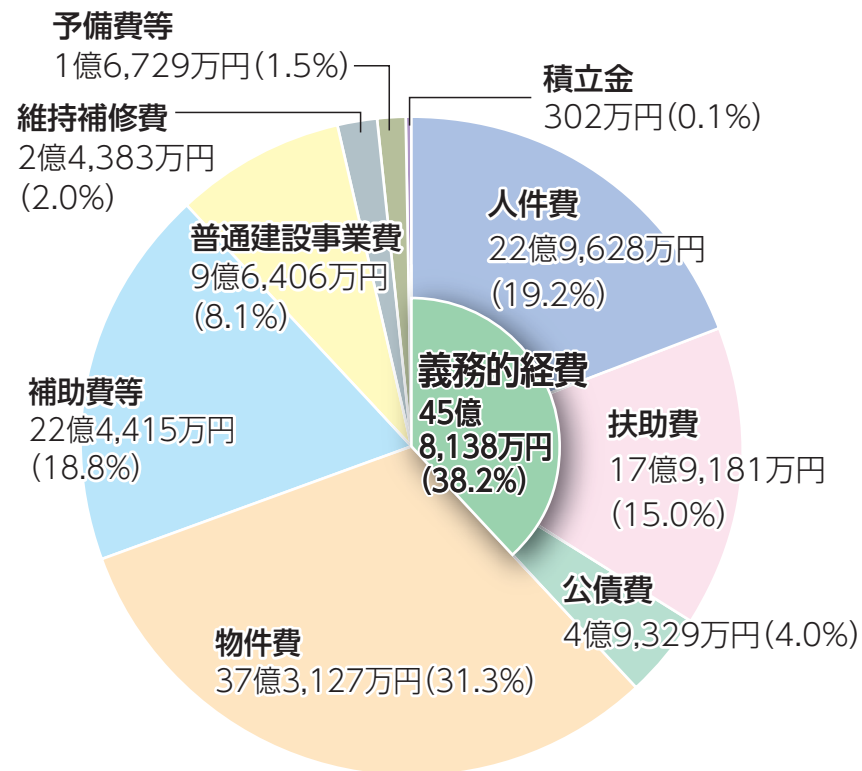
3月中旬 予算案の議決

4月 新年度予算執行開始

2. 歳出(支出)

平成28年度の市制移行に向けての準備費用等により予算の肥大化が懸念されましたが、予算案を精査し、財政への影響を最小限に抑えることに努めました。

このお金は何に使われるの？



●義務的経費

人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。

●物件費

賃金、旅費、交際費、需要費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃借料などの経費です。

●補助費等

各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費です。

●普通建設事業費

公共または公用施設の新增設等に要する経費です。

●維持補修費

町が管理する道路や学校などの施設維持や修繕にかかわる経費です。

●予備費等

予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための経費などです。

●積立金

基金へ積立てる経費です。

普段の生活に見立てるとこんな感じです

予算を一般家庭(年間収入・支出676万4,000円※)に見立てると

年間収入	年間支出
給料収入 309万4,000円 (町税)	生活費 351万1,000円 (人件費、物件費、予備費等)
パート収入 101万円 (その他)	自宅の増築(修繕)費 68万5,000円 (普通建設事業費、維持補修費)
銀行からの借金 30万8,000円 (町債)	子育て費(仕送り・学費等) 228万7,000円 (扶助費、補助費等)
親からの援助 185万9,000円 (地方交付税、国・県支出金)	ローン返済 27万9,000円 (公債費)
貯金取崩 49万3,000円 (繰入金)	貯金 2,000円 (積立金)
収入計676万4,000円	支出計676万4,000円

※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入676万4,000円に合わせたもの。

平成27年度

一般会計予算の中身を見てみよう！

～どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？～

まず初めに…

そもそも、予算って何？

1年度(4月から翌年3月)に町へどのくらいお金が入ってくるのか(収入)、また行政サービスをどのように行うか(支出)を決めたものです。予算は町議会の審議と議決によって成立します。

一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。補正予算といいます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合に行います。

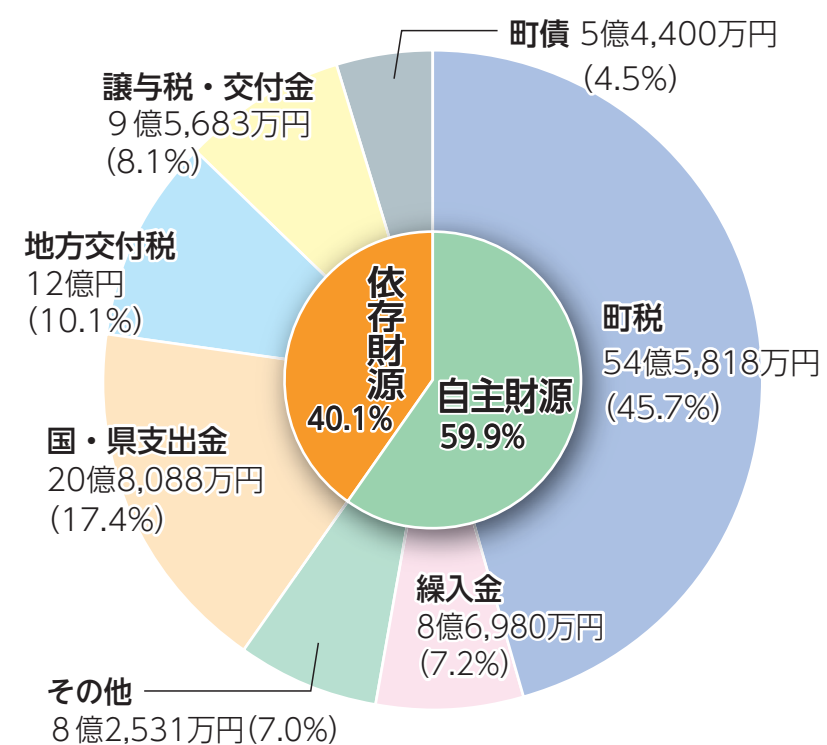
平成27年度一般会計予算

平成27年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の実現を目指し、施策の具現化のため最大の効果が出るよう予算編成を行いました。2月23日開会の平成27年第1回富谷町議会定例会に上程され、予算審査特別委員会(3月11日～16日)の集中審議を経て、3月17日に原案可決されて成立しました。

119億3,500万円 (平成26年度:137億7,700万円)

1. 歳入(収入)

このお金はどこからやってくるの？



■自主財源 (59.9%)

71億5,329万円

地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源のこと。代表的なものは町税で、他に繰入金、その他(諸収入、使用料・手数料、寄附金、繰越金など)があります。地方財政の自主性と安全性を確保する上では、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

■依存財源 (40.1%)

47億8,171万円

国や県の決定や割り当てに基づいて収入するもの。国・県支出金のほか、譲与税、利子割交付金等の各種交付金、町債が該当します。

●町税

皆さんが町に納めた税金(町民税、固定資産税、軽自動車税など)です。

●地方交付税

全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。

●国・県支出金

国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

●町債

町が銀行等から借り入れるお金です。

●繰入金

歳入の不足を補うために、基金(貯金)や特別会計から繰り入れたお金です。

4. 特別会計と水道事業会計の予算

まず初めに…

そもそも、特別会計って何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的の事業を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。

各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

水道事業会計って何？

水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。

安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

◎特別会計の予算			
会 計		当初予算額	主な内容
国民健康保険		44億9,810万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険		22億9,856万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療		2億8,472万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など
下水道事業		8億5,695万円	公共下水道の整備など

◎水道事業会計			
区 分		当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億7,670万円	収入のほとんどは水道料金で、支出は職員給与や固定資産の減価償却費など
	支出	10億7,366万円	
資本的収支	収入	1万円	支出は施設整備・拡充などの資産取得等の経費
	支出	1億1,082万円	

5. 昨年度との比較

昨年度の予算と比較すると…

区分	平成27年度 予算額（円）	平成26年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	119億3,500万円	137億7,700万円	－18億4,200万円
特別会計	79億3,833万円	70億9,530万円	＋8億4,303万円
国民健康保険	44億9,810万円	39億 840万円	＋5億8,970万円
介護保険	22億9,856万円	20億2,807万円	＋2億7,049万円
後期高齢者医療	2億8,472万円	2億7,447万円	＋1,025万円
下水道事業	8億5,695万円	8億8,436万円	－2,741万円
総計	198億7,333万円	208億7,230万円	－9億9,897万円

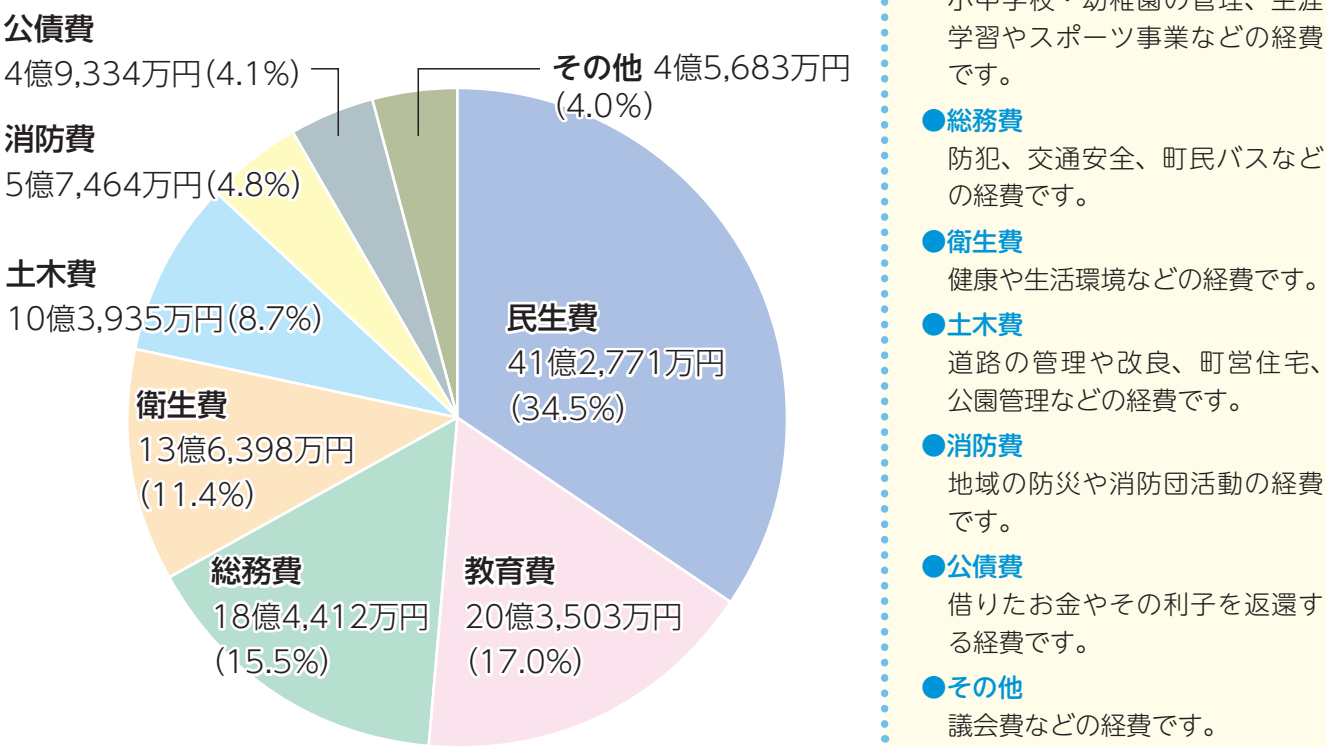
昨年度と比較すると一般会計が対前年度比で18億4,200万円の減となっています。

主な要因として、明石台小学校建設事業がほぼ完了したことにより、教育費において20億7,559万円の減、土木費についても町道高屋敷線道路改良事業の減により、1億7,392万円の減となりました。

区分	平成27年度予算額	平成26年度予算額
民生費	41億2,771万円	39億7,283万円
教育費	20億3,503万円	41億1,062万円
総務費	18億4,412万円	16億5,485万円
衛生費	13億6,398万円	12億5,389万円
土木費	10億3,935万円	12億1,327万円
消防費	5億7,464万円	6億1,769万円
公債費	4億9,334万円	4億6,591万円
その他	4億5,683万円	4億8,794万円

3. お金の使いみち

実際に何に使われているか具体的に見てみよう



予算を町民一人あたりにすると…

民生費
子どもや高齢者、障がい者の福祉などに
79,630円
(77,476円)

教育費
小中学校・幼稚園など教育のために
39,259円
(80,163円)

総務費
防災や交通安全、町民バスの運行に
35,576円
(32,272円)

衛生費
ごみ処理や病気の予防などに
26,313円
(24,453円)

230,245円
(268,672円)
※平成27年1月1日現在の住民基本台帳人口51,836人で換算しています。
※()内は昨年度の金額です。

土木費
道路や公園などの整備に
20,051円
(23,661円)

消防費
地域の防災や消防団の活動のために
11,086円
(12,046円)

公債費
借金返済に
9,517円
(9,086円)

その他
産業や議会関連経費などに
8,813円
(9,515円)

福祉部 子育て支援課

児童手当支給事業……………11億 185万円
国の制度に基づき、中学校修了前までの児童を対象に児童手当を支給します。なお、児童手当は町で一定の財源を負担します。

子ども医療費助成事業……………2億1,000万円
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの入院・通院の医療費を助成します。

認可保育所運営事業……………4億3,812万円
認可保育所3園の運営費です。

保育所運営・維持管理事業……………1億8,782万円
町立4保育所の運営・維持管理費です。



感染症予防事業……………1億4,903万円
BCG、不活化ポリオワクチン、四種混合ワクチン等の各予防接種費用を助成し、感染予防に努めます。

福祉部 健康増進課

住民検診事業……………1億8,716万円
生活習慣病予防の健康診査や各種がん検診、脳検診等を適正に行い、健康管理を促進します。

国民健康保険特定健康診査等事業・疾病予防事業
……………7,168万円
富谷町国民健康保険に加入している方のうち、40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病に着目した集団健診及び個別検診を実施します。また、健診の結果によって、特定保健指導を行い、病気の予防や改善を図り、疾病の早期発見・早期治療・健康保持増進を支援します。

感染症予防事業……………2,257万円
感染症の恐れがある疾病の発生、まん延を防止し、公衆衛生の向上に努めるため、高齢者の定期予防接種であるインフルエンザワクチンと、肺炎球菌ワクチンの予防接種を促進します。

食育推進事業……………403万円
食育教室や農業体験教育等を通して、町民の食育や健康づくりを推進するとともに食の地産地消を促進します。



認可外保育所運営費補助事業……………1億 692万円
認可外保育所への運営費補助です。また、認可外保育所へ入所する世帯へ、保育料の一部を助成します。

放課後児童クラブ運営事業……………6,999万円
放課後児童クラブ（各公民館・明石台小学校）を適正に運営します。

保育施設整備事業……………5,287万円
旧富ヶ丘北部会館の保育施設を改修工事し、保育施設を整備します。

妊婦支援事業……………4,934万円
母親教室の開催、母子健康手帳交付時の相談事業などにより、妊婦へ支援を図ります。また、妊婦健診については14回分を助成します。

子育て支援事業……………2,277万円
新生児訪問・乳幼児健診や離乳食教室等の開催、子育て情報誌の発行など、子育て家庭を支援します。

地域子育て支援事業……………877万円
西コミ子育てサロンにおいて、子育てに関する相談支援や情報提供、一時預かりなどを行います。

病児・病後児保育室運営事業……………739万円
コミュニティクリニック上桜木内に「とみや病児・病後児さくら保育室」を開設し、保育施設に通っている乳幼児が、病気の回復期等により集団保育が困難な時期に、一時的に個別で預かります。

健康推進員育成事業……………265万円
健康づくりに必要な知識習得のため、研修会などを開催し、健康推進員を育成します。

黒川地区休日当番医事業……………247万円
黒川郡医師会と連携し、休日や祝日の当番医を設置します。

教育委員会 生涯学習課

西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業
……………1,241万円
西成田コミュニティセンターの運営・維持管理費です。町民の交流・学び・憩いの場、コミュニティを育む学習施設として運営します。

総合運動公園運営・維持管理事業……………6,332万円
スポーツセンターや武道館などを運営管理します。H27年度はDグラウンドベンチ屋根設置工事、スポーツ交流館の管理業務等を行います。



協働教育推進事業……………467万円
地域・学校・家庭の協働により、子どもの豊かな学びを実現させ、学校教育の更なる充実を図ります。



平成27年度に実施する
まちの主な仕事
平成27年度に実施する主な仕事を紹介します。

教育委員会 教育総務課・学校教育課

町立小学校運営・維持管理事業……………1億9,332万円
平成27年4月に開校する明石台小学校を含めた町立小学校8校の学校運営・維持管理費です。子どもたちが安心して学べる環境を整備し、教育の充実を図ります。



町立中学校運営・維持管理事業……………1億2,299万円
町立中学校5校の学校運営・維持管理費です。子どもたちが安心して学べる環境を整備し、教育の充実を図ります。

町立小中学校図書推進事業……………3,428万円
心豊かでたくましく生きる子どもの育成のため、蔵書を充実させ、図書教育の強化を図ります。

幼稚園就園奨励費補助事業……………1億3,257万円
幼稚園の入園料および保育料等を助成し、子育て家庭を支援します。



中学校トイレ改修事業……………6,459万円
老朽化に対応するため、日吉台中学校のトイレ改修工事を行います。

町立小中学校再生可能エネルギー等導入事業……………9,214万円
成田東小学校および富谷第二中学校に太陽光発電設置工事を行います。



奨学金貸付事業……………1,897万円
奨学金貸付による高校・大学等の就学支援を行います。

学校給食センター

学校給食センター運営・維持管理事業……………4億8,873万円
学校給食センターの円滑な運営による安定した学校給食の提供を行うため、給食センターの運営・維持管理を行います。



総務部 町民生活課

一般廃棄物収集運搬処理事業…………… 2億 431万円
生活ごみ等の一般廃棄物を適正に収集・運搬します。



一般廃棄物処理（仙台市委託分）事業…………… 1億2,749万円
生活ごみ等の一般廃棄物の処理は、仙台市へ委託しています。（仙台市と共同建設した仙台松森工場で処理されています）

粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業…………… 3,871万円
富谷町清掃センター内の粗大ごみ処理施設の適切な維持管理に努め、粗大ごみを適正に処理します。

企画部 産業振興課

中小企業制度融資事業…………… 1億 107万円
中小企業振興資金融資をあっせんし、1％に相当する利子補給を行うことで、さらなる中小企業の経営安定を図ります。

労働雇用対策事業…………… 1,608万円
高齢者の就業機会拡充のため、シルバー人材センターへ補助金を交付し、運営を支援します。



企業誘致事業…………… 862万円
事業所の立地促進および規模拡大の支援を行い、町の産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

農業振興事務…………… 764万円
農業経営の安定化と効率化を図るため、各種事業を通して、支援を行い、町の農業振興に取り組みます。

生産調整推進事業…………… 691万円
生産調整目標の達成と生産調整水田を活用した農産物の生産拡大を図ります。

リサイクル推進事業…………… 875万円
ビンや容器包装プラスチックなどのごみのリサイクル化を図るため、適正処分・処理を行い、循環型社会の構築に努めます。

出張所運営事業…………… 436万円
町内5カ所（富ヶ丘、東向陽台、あけの平、日吉台、成田）の出張所を運営し、地域の身近な窓口として、町民の利便性の向上に努めます。



町有林維持管理事業…………… 402万円
町有林の維持管理を行います。

ブルーベリー産地拡大事業…………… 203万円
町の特産品であるブルーベリーの産地拡大を目指し、富谷町ブルーベリー生産組合への支援と販路拡大に取組みます。



観光物産振興対策事業…………… 189万円
地場産品の新規創造と既存産品の生産拡大並びに販路の開拓により、産業振興を図ります。

富谷250園芸促進事業…………… 103万円
野菜栽培農家の増加・栽培量の拡大の支援と産地直売の生産体制の充実を図ります。

レクリエーション農園支援事業…………… 83万円
休耕田の有効活用として、レクリエーション農園（貸農園）を整備し、団地住民との交流を図ります。



福祉部 長寿福祉課

障害者自立支援給付事業…………… 2億9,114万円
障害者総合支援法の法定サービスで、介護給付・訓練等給付を行うことにより、障害者の方が施設や地域で自立した生活が送れるように支援します。

後期高齢者医療制度運営事業…………… 2億7,368万円
宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な運用を図ります。

心身障害者医療費助成事業…………… 5,643万円
心身障害者の方への医療費を助成します。

社会福祉協議会補助事業…………… 2,939万円
福祉活動を展開する富谷町社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付します。

高齢者在宅生活支援事業…………… 2,203万円
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行います。

地域活動支援センター運営事業…………… 1,938万円
地域活動支援センターの運営・維持管理費です。在宅の身体・知的・精神障害者が、日常生活活動の訓練や作業、地域社会との交流を通じて、自立した日常生活や社会生活を営めるように努めます。

地域生活支援事業…………… 1,912万円
相談支援事業や日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などにより、障害者が自立した生活を営めるよう支援します。

総務部 総務課

マイナンバー制度対応事業…………… 7,753万円
福祉・税システムへの改修を行い番号連携に対応していきます。

消防団員設置・運営事業…………… 1,757万円
消防団員の確保・訓練・育成等により、消防体制の強化を図ります。



防災用情報通信設備等維持管理事業…………… 640万円
防災行政無線の適正な運用と管理に努めます。

防災用備蓄物品等整備事業…………… 257万円
防災活動に必要な非常食糧などの生活物資等を適正に整備管理します。

災害対策総務事務…………… 431万円
自主防災組織や町内会の防災活動を支援します。安全安心メールの適正な運用と管理に努めます。

保健福祉総合支援センター運営・維持管理事業…………… 1,017万円
障害者・高齢者全般の総合窓口である保健福祉総合支援センターの運営・維持管理費です。



福祉健康センター維持管理事業…………… 877万円
高齢者の生きがいづくり、介護予防事業を行っている福祉健康センターの運営・維持管理費です。

高齢者生きがい教室事業…………… 156万円
高齢者の健康保持や仲間づくり、生きがいづくり、介護予防のための各種教室を開催します。



福祉事務所設置に要する経費…………… 68万円
市制施行に伴う福祉事務所設置のための準備を進めます。

交通安全指導員設置・運営事業…………… 308万円
交通安全指導員の確保と交通安全知識の習得および技術の向上を図ります。

交通安全啓発・教育事業…………… 181万円
交通安全運動を実施するなど、交通安全意識の向上を図り、交通事故のない明るいまちづくりを進めます。



消費者行政推進事業…………… 87万円
消費生活相談員の配置を行い、商品、サービス、契約などに関する相談や苦情を受け付ける消費生活相談窓口を開設します。

自治振興事業…………… 1,585万円
地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し活動を支援します。

企画部 企画政策課

町民バス運営事業……………2,787万円
町内公共施設を結ぶ町民バスを適正に運営します。70歳以上の方や障がいをお持ちの方、65歳以上で運転免許を返納された方などへ、無料乗車証を配布しています。



行政情報紙発行事業……………1,571万円
町と町民との懸け橋である広報とみやを発行し、町の施策に関する情報等を発信します。



地域情報化推進事業……………635万円
町ホームページを適正に運営・管理します。また、ツイッターやフェイスブック等のソーシャルメディアを活用した情報発信体制のさらなる充実を目指します。



建設部 上下水道課

合併処理浄化槽設置事業……………1,247万円
個人が設置する合併処理浄化槽の設置および維持管理に対して、その一部を助成し、合併処理浄化槽の一層の促進に努めます。

総務部 税務課

固定資産税賦課事業……………2,783万円
納税者の正確な把握と適正かつ効率的な評価システムの構築を図り、公平で適正な町税の課税に努めます。

広報掲示板整備事業……………306万円
町内の老朽化した広報掲示板を順次、撤去・新設します。



市制移行に要する事業……………112万円
市制移行へ向けて、先進地視察・PR等を行い、スムーズに市制へ移行できるよう努めます。



人口ビジョンおよび総合戦略策定事業……………1,098万円
「地方創生」、そして市制移行とその先のまちづくりを見据えた「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた具体的な戦略を策定します。

ライトレール（次世代型路面電車）推進事業……………143万円
ライトレール整備に係る先進地視察等を行い、ライトレールの具体的計画を進めます。

わくわく町民会議運営事業……………33万円
町民の皆さんの声が届く行政運営ツールとして、町民の皆さんからご意見やご要望をいただく機会を積極的に創出します。

企画部 財政課

公有財産維持管理事業……………9,217万円
役場庁舎や町が所有する土地・建物等を適正に管理します。

財政運営事務……………370万円
計画的・効果的な財源配分を行い、効率的な財政運営を図ります。



建設部 都市整備課

町道維持管理事業……………1億3,497万円
道路の舗装補修、街路樹の剪定、道路敷の除草などを実施し、町道を適正に管理します。

町道二・三ノ関線外5路線舗装修繕事業……………1億2,950万円
町道二・三ノ関線等の舗装修繕を行い、道路利用者の安全を確保します。



側溝整備事業……………9,258万円
町内各地区の側溝整備を行います。平成27年度は太子堂、富ヶ丘、鷹乃杜で工事を行います。



町道除融雪事業……………7,780万円
冬季期間の町道の安全な通行を確保するため、除雪・融雪を行います。

防犯灯整備事業……………7,020万円
防犯灯の新設と維持修繕を適切に行い、通学路や地域の生活道路における防犯上の安全確保に努めます。

建設部 都市計画課

一般公園維持管理事業……………1億966万円
公園施設の良い環境と安全を確保・保全するため、公園遊具や施設の点検・修繕、除草や樹木の剪定を行い、適正に管理します。

大亀山森林公園維持管理事業……………1,625万円
ちびっ子ゲレンデや公園遊具の補修等を行い、総合公園としての休養、鑑賞、散歩、運動等の基本機能の維持と安全の確保を図ります。



道路交通安全施設整備事業……………4,656万円
交通安全施設の整備と維持修繕を適切に行い、道路利用者の安全を確保します。



河川維持管理事業……………1,675万円
河川の災害防止と環境保全のため、調整池の施設修繕や除草業務等の適正な維持管理に努めます。

町道深苗代線道路改良事業……………1,093万円
道路改良のために必要な用地の買収を行います。



橋梁維持管理事業……………500万円
橋梁の定期的な点検と予防的な修繕を適正に行い、橋梁の安全確保と長寿命化に努めます。



住宅地震災害対策事業……………680万円
木造住宅耐震改修工事助成事業や危険ブロック塀等除却事業への補助等を行い、震災対策を支援します。

町営住宅維持管理事業……………245万円
建物の点検・修繕、団地内の除草等を行い、町営住宅の適正な維持管理に努めます。

